種目名	美　術	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	

観　点 ＼ 発行者		開隆堂	光村図書	日本文教出版
１学習指導要領との関連		題材毎に制作過程や思考のポイント、振り返りを示すことで、創作活動の喜びにつながっていくよう編集されている。	生徒の興味・関心を高め、教科目標に迫る配慮がされている。美術文化についての理解を深める編集である。	教科目標を踏まえて構成されている。発達段階を考慮した編集で、学習内容を身近に感じることができる編集である。
２「あいちの教育の基本理念」との関連		「命・世代の継承・責任」「社会の課題」「共生」に関する記述が効果的である。	日本の伝統･文化に関する多くの記述により、文化継承者としての資質向上に資する編集となっている。	各観点のバランスが取れており、社会や地域とのつながりに関する記述がしっかりしている。
３内容等	⑴内容の選択	美術が社会で果たす役割という視点で教材の精選がされている。美術を生活の中に取り入れる方法が提示され、生徒の制作意欲の向上に資するよう工夫されている。	多角的な思考、様々な価値観に触れる記述を精選された教材で示している。美術が生活の中で果たす役割について理解が深まるよう配慮されている。	社会の在り方や今日的な課題に迫る内容が適切で精選された教材を通して記述されている。美術を通して問題解決能力が身につくよう工夫されている。
	⑵内容の程度	各題材に掲載されている図版に、個性豊かな作品が多く扱われており、生徒の興味・関心が喚起できるよう配慮されている。	原寸大の図版を掲載するなど、視覚的に生き生きとした紙面構成で、興味・関心・学習意欲を高められるよう工夫されている。	どの題材も特殊な用具や環境が求められることなく、取り組みやすい内容である。発想の引き出し方を考える参考資料が充実している。
	⑶内容の構成	各内容の分量がバランスよく掲載されている。レイアウトを工夫することで、生徒が主体的に制作することができる構成である。	各領域のバランスが良く、視覚芸術の世界を俯瞰する趣がある。題材について、その制作における手順を追った構成で表記されている。	３年間の成長過程に応じて、領域や分野ごとにまとめられている。図版と作者の言葉を同時に掲載するなど、制作の意図や鑑賞の手掛かりとなる構成である。
４表記・表現及び使用上の便宜等		道具の使用法に関して安全面で配慮する点が具体的に記述されている。鑑賞のきっかけとなる問いかけが色の付いた円の中に記述され、関心を高める工夫がある。	参考にする巻末資料のページが常に右下に表示されていて使いやすい。作品についての解説が近くに配置されていて読みやすく、内容も充実している。	巻末の参照資料が、ページごとに背景色に白文字で表示されている。学びの狙いが４観点の順に記載されている。学習のポイントとして生徒が工夫することが示されている。
５印刷・造本等		印刷効果がよく、文字の量が適切である。造本は堅ろうである。つやを抑えた紙質と落ち着いた書体を使用しており、使用中の目の疲れが少ないと考えられる。	色彩が鮮やかで、とても鮮明であり、立体であるものの表情がとらえやすい。書体に統一感があり、読みやすい。造本はとても堅ろうである。	フォントサイズ、ピッチ、行間がよく、隅々まで読みやすい。本がややA4よりも横長になっている。印刷は鮮明である。書体も読みやすい。